

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	秋田大学大学院						
教育プログラム・コース名	患者に優しいプレジジョン医療を実践できるがん専門医療人を養成するコース						
対象者	医学系研究科大学院生（博士課程）						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	従来のがん専門医療人に必要とされる知識、技量に加えて、①がんゲノムやがん生物学などの基礎医学を理解し、その成果を臨床にいち早く応用することができる医療者。②がん患者の身体状況や腫瘍の特性に立脚したプレジジョン医療を実践できる医療者を養成する。						
修了要件・履修方法	博士は必修を含む15単位以上を履修し、学位論文を作成する。査読のある科学雑誌に掲載され、学内の最終試験に合格する（15単位）。以上を要件とする。						
履修科目等	基礎科目では、生命科学研究概論（2単位）、医用統計疫学基礎・演習（2）、臨床医学研究概論（2）、最新医科学研究（2）を必修とし、医科学研究セミナーおよび基礎医学技術実習から2単位以上選択履修する。また専門科目として、分子標的治療論（2）、プレジジョン医療論（2）、レアキャンサーのがん生物学（2）、レアキャンサーの治療論（2）の履修科目を設ける。このうち、分子標的治療論（2）、プレジジョン医療論（2）を必修とし、レアキャンサーのがん生物学（2）、レアキャンサーの治療論（2）と合わせて5単位以上選択履修する。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	秋田県は全国に先駆けて高齢化社会が進行中である。次に行うべき、がん医療体制の整備に資する専門医療人教育としてはプレジジョン医療を実践できる医療人の養成がある。特に高齢者に対するがん治療では標準治療の個別化は必須となる。高齢化県において、本学が行ってきたファーマコゲノミクスやtherapeutic drug monitoring（TDM）に基づく治療設計は、その嚆矢とすべきものである。すでに本学には標準治療を実践する医療人を養成する体制は整っている。がん先進医療の地域への導入は首都圏の医育機関や他大学との医療連携によって加速される。本プロジェクトはプレジジョン医療の均てん化に貢献するものである。						
指導体制	腫瘍外科医や腫瘍内科医を養成する体制はすでに整備され、専門医を輩出するなど実績を上げている。すでにファーマコゲノミクスやTDMの活用については全国の医療機関との連携実績がある。また、予定されている連携大学との間で授業互換、遠隔講義、人的交流などの実績があり、これを深化させる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	・腫瘍外科医、腫瘍内科医（各領域の専門医）						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院生	0	3	3	3	3	12
	計	0	3	3	3	3	12